

(仮称)新みやぎ森林・林業の将来ビジョン中間案に対する関係機関からの意見一覧

番号	頁	項目	意見要旨	対応状況 (新ビジョン最終案への反映項目等)	提出者
1	22	目指す姿の図について	「環境循環」がピンとこない。循環ではなく「環境保全」ではないか。敢えて「循環」と表現しなくても良いかと思う。また、地域経済が循環することは理解できるが、「地域・人の循環」についても、敢えて「循環」と表現しなくても良いかと思う。	「木を使い、植え・育てる」という仕組みが定着し、県内の林業・木材産業が循環型産業として機能することにより、「森林環境の循環」、「木材利用の循環」、「地域や人の循環」が歯車のようにかみ合っていて回っているという状態を表現したいと考えており、原案のままとします。	宮城県林業振興協会
2	23	理念の図について	「共存」と「均衡が取れた」の表現について理解しかねる。「…」を牽引する宮城の森林・林業」と表現するぐらいの力を示してはどうか。「森林環境の保全」も「森林」にだけ限定するのではなく「環境の保全」に改めて、「環境」「地域経済」「低炭素社会」を推し進めていくような図にしてはどうか。	森林・林業行政として、「森林環境」「社会」「経済」がバランス良く発展していくための舵取りをしっかり行っていく必要があると考えていることから、原案のままとします。	宮城県林業振興協会
3	27	木育について	次代を担う子ども世代へ木材をもっと身近に知ってもらう機会や活動に関する「木育」を是非盛り込んでいただきたい。	御意見を踏まえ、取組10に、木材や木の文化への理解を深める「木育」についての記載を追加いたしました。	宮城県林業振興協会
4	31	ストックマネジメントについて	道路や橋梁などインフラの老朽化と維持管理が問題になっています。治山施設や林道施設についても言及すべきではないか。	取組6の取組方向に「計画的かつ適切な維持補修及び機能強化の実施」を行うとの記載のとおり、治山施設等の適切なストックマネジメントに努めてまいります。	宮城県林業振興協会
5	-	自由意見	・中間案は総じて立派であり、新ビジョンが本県林政の羅針盤としてその役割を果たしていくことを期待する。 ・資料の見せ方としてカラフルで様々な工夫と色彩をあしらっているが、もう少し色調を抑え気味にした方がいいかと思う。 ・少子高齢化はさらに進むことと思う。その中で、働き手がいないのは各分野・業界も同じ状況にある。担い手、働き手は正に争奪戦であり、他産業や分野に劣らぬ宮城の林業の魅力、やり甲斐などを施策として反映させながら是非地域を挙げてアピール願う。そのためにも、行政だけではダメで、業界や森林組合、就労者(特に若年層)の発信力とモチベーションが不可欠。	資料については、「見やすさ、わかりやすさ」の観点からさらに工夫してまいります。 林業の担い手確保など、特に力を注ぐ取組を「重点プロジェクト」として設定し、多様な主体の参加を得ながら推進してまいります。	宮城県林業振興協会
6	2	第5節 推進方法 2 多様な主体との連携、協働による施策の推進	「県民をはじめ、」の後に「国有林、」を付加してはどうか。	御意見を踏まえ、「県民をはじめ、森林所有者、国有林、林業・木材産業等の事業者…」と修正いたしました。	宮城北部森林管理署
7	29	政策Ⅱ 森林の持つ多面的機能のさらなる発揮 取組4 資源の循環利用を通じた森林の整備 目指す姿実現のための取組方向 ②主伐・再生林の推進による森林資源の再造成	「国有林野」を「国有林」に修正願う。	御指摘のとおり修正いたしました。	宮城北部森林管理署
8	30	取組5 多様性に富む健全な森林づくりの推進 目指す姿実現のための取組方向 ②松くい虫被害対策の推進と松林景観の保全	「市町村等」を「市町村、国有林等」に修正してはどうか。	御意見のとおり、「市町村、国有林等と連携した…」と修正いたしました。	宮城北部森林管理署
9	30	取組5 多様性に富む健全な森林づくりの推進 目指す姿実現のための取組方向 ③森林被害対策の推進	「市町村等」を「市町村、国有林等」に修正してはどうか。	御意見のとおり、「市町村、国有林等と連携した…」と修正いたしました。	宮城北部森林管理署

10	34	取組9 新たな森林・林業・木材産業関連技術の開発・普及を目指す姿実現のための取組方向 ①ニーズの的確な把握や関係機関との連携等による効率的な試験研究の実施	「森林所有者・林業事業者等」を「森林所有者・林業事業者、国有林等」に修正してはどうか。	御意見のとおり、「森林所有者・林業事業者、国有林等との連携による…」と修正いたしました。	宮城北部森林管理署
11	34	取組9 新たな森林・林業・木材産業関連技術の改良・普及を目指す姿実現のための取組方向 ③試験研究成果の迅速な普及と技術情報の提供	「フォレスター」を「県及び国のフォレスター」に修正してはどうか。	御意見を踏まえ、「県及び国等のフォレスター…」と修正いたしました。	宮城北部森林管理署
12	36	政策Ⅳ 東日本大震災からの復興と発展 取組11 海岸防災林の再生と特用林産物の復興 目指す姿実現のための取組方向 ①海岸防災林の再生と適切な維持管理	「被災した海岸防災林」の前に「国有林と連携し、」を付加してはどうか。	御意見のとおり、「国有林と連携し、被災した海岸防災林の早期復旧を推進」と修正いたしました。	宮城北部森林管理署
13	-	自由意見	国有林が県と連携できる部分、又は既に連携している部分については、今後も積極的に連携させて頂ければと考えている。	県といたしましても、国有林をはじめとする幅広い主体と密接に連携しながら施策の展開を図って行きたいと考えておりますので、御協力をお願いいたします。	宮城北部森林管理署
14	9	4 森林資源の充実と林業の成長産業化	森林・林業基本計画の主旨を踏まえるとともに、林業の成長産業化に向けた市町村の取組を支援するという意味を含めるため、次のように(「」内)加筆してはどうか。 木材生産体制の強化や新たな木材需要の創出に「向け、地域の創意工夫を大切にしながら」取り組み、林業や木材産業の成長産業「化」を図ることとしています。	御意見を踏まえ、「…木材生産体制の強化や新たな木材需要の創出に向け、地域の創意工夫の下、現場の課題解決に取り組み、林業や木材産業の成長産業化を図ることとしています。」と修正いたしました。	仙台森林管理署
15	13	2 林業経営基盤の状況 (4)県内では～	森林環境税(仮称)の創設に向けた国の検討に関して、その必要性(課題)は県も同様に抱えていることを記すことで創設後の事業に対しても本ビジョンが対応していることを示すため、次のように(「」内)加筆してはどうか。 「国では、自然的、社会的条件から成長産業化への取組が困難な森林については、公的主体が関与した森林整備について検討されている中で、県内では、一部の森林組合が、森林の管理が困難となった森林所有者の山林の管理を所有者の負担なしで行っている事例が見られます。	御意見を踏まえ、「国では、自然的、社会的条件から森林所有者等による自発的な施策が進まない森林を対象に、公的主体が関与した森林整備について検討されている中で、県内では、一部の森林組合が、森林の管理が困難となった森林所有者の山林の管理を所有者の負担なしで行っている事例が見られます。」と修正いたしました。	仙台森林管理署
16	36	東日本大震災からの復興と発展 目指す姿①	海岸防災林がかつての機能を発揮するのに植栽後数十年は必要であり、期間内に「復旧が完了した」とするには無理があることから、次のように修正してはどうか。 東日本大震災により壊滅的な被害を受けた海岸防災林の「植栽」が完了しており、NPOなど多様な主体の協力を得ながら適切な「保育」・管理が行われ、順調に生育しています。	御意見のとおり、「東日本大震災により壊滅的な被害を受けた海岸防災林の植栽が完了しており、NPOなど多様な主体の協力を得ながら適切な保育・管理が行われ、順調に生育しています。」と修正いたしました。	仙台森林管理署
17	21	(2)引き続き～	…海岸防災林機能の発揮に向け、「植栽木の保育」・管理の徹底が求められています(参照P25・3行目)としてはどうか。	御意見のとおり、「…海岸防災林機能の発揮に向け、植栽木の保育・管理の徹底が求められています…」と修正いたしました。	仙台森林管理署
18	21	【用語の統一】	海岸防災林の「復旧」、「復興」、「再生」と用いられていますので例えば「再生」で統一してはどうか。	植生基盤造成、植栽が完了した時点「復旧」、植栽木が成長して海岸防災林機能が発揮された時点「再生」と整理し、その旨修正いたしました。	仙台森林管理署

19	25	【用語の統一】	海岸防災林の「復旧」「復興」「再生」と用いられていますので例えば「再生」で統一してはどうか。	植生基盤造成、植栽が完了した時点「復旧」、植栽木が成長して海岸防災林機能が発揮された時点「再生」と整理し、その旨修正いたしました。	仙台森林管理署
20	21	【海岸防災林に係る工事と植栽の用語等の整理】 (1)被災した治山施設については～	海岸防災林に係る復旧工事は植生基盤造成工事と植栽が存在し、また事業が年ごとに進捗していることから、次のように修正してはどうか。 そのうち228ha「(〇年〇月末現在)」	御意見のとおり、「…そのうち228ha(平成29年3月末現在)」が植栽まで完了するなど…」と修正いたしました。	仙台森林管理署
21	21	(2)引き続き～	「今後も積極的に進め、早期の植栽」完了を目指すとともに… としてはどうか。	御意見を踏まえ、「引き続き、早期の植栽完了を目指すとともに、…」と修正いたしました。	仙台森林管理署
22	28	取組3 持続可能な林業経営の推進 目指す姿実現のための取組方向 ②経営委託等による森林管理の促進	市町村のサポートについて、次のようにフォレスターの支援も記載してはどうか。 〇市町村をサポートする民間林業技術者の登録・斡旋制度などの創設「や県・国等のフォレスター(森林総合監理士)が連携した支援	御意見を踏まえ、「市町村をサポートする民間林業技術者の登録・あつ旋制度などの創設や県・国等のフォレスター(森林総合監理士)が連携した支援」と修正いたしました。	仙台森林管理署
23	全般	平成の表記	平成31年以降はあり得ないので、西暦表記に統一してはどうか。	当ビジョンは行政文書であることから、和暦表示を基本としており、原案のままとします。	宮城県木材協同組合
24	14	木材産業の現状	優良品やぎ材を含む製材等の製品生産の現状が必要ではないか。	優良品やぎ材などの製材分野や合板分野の現状については、「第3節 本県森林、林業・木材産業の現状と課題」「3 県産材の需要・生産・加工関係」に整理いたしました。	宮城県木材協同組合
25	22 23	図の文言、デザイン全般	22頁の目指す姿と23頁の理念の関連がよくわからない。 22頁の目指す姿の文章表現を図の構成:「環境循環」「地域・人の循環」「木材の循環利用」ともう少しあわせた方がよいのではないかと。 23頁の図の構成:森林環境の保全、低炭素社会の構築、地域経済の発展が、均衡が取れた宮城の森林・林業につながっているが2図を並べると少し違和感、唐突感を感じる。	森林、林業・木材産業の目指す姿については、「木を使い、植え・育てる」という仕組みが定着し、県内の林業・木材産業が循環型産業として機能することにより、「森林環境の循環」「木材利用の循環」「地域や人の循環」が歯車のようにかみ合っていて回っているという状態を表現したいと考えております。 また、森林・林業行政の理念については、森林・林業行政として、「森林環境」「社会」「経済」がバランス良く発展していくための舵取りをしっかり行っていく必要があると考えていることから、原案のままとします。	宮城県木材協同組合
26	24	政策Ⅲ	「……支える地域や人材の育成」は「…地域づくり…」若しくは取組7～10を表す別な表現にしてはどうか。	政策Ⅰの「林業・木材産業の産業力強化」と、政策Ⅱの「森林の多面的機能発揮」を図るためには、これらを側面から支える地域や人材の育成を図ることが不可欠であることから、原案のままとします。	宮城県木材協同組合
27	27	目指す姿	JAS認定取得の推進に伴う記述が目指す姿に必要ではないか。	御意見を踏まえ、取組2の目指す姿を「①製材品の品質向上が図られているほか、CLT、LVLなど新たな木材製品の普及や集材製造が進展しています。」と修正いたしました。	宮城県木材協同組合
28	27	取組方向	製材品需要のコアである木造住宅需要拡大は外せないのではないかと。	御意見を踏まえ、取組2の取組方向⑤を「 <u>公共施設等の木造・木質化の促進</u> 」と修正し、内容に「 <u>県産木材をふんだんに取り入れた住宅の普及促進</u> 」を追加し、併せてロードマップも修正いたしました。	宮城県木材協同組合
29	31	取組方向①	国立研究開発法人の名称は変わったのではないかと。	御指摘のとおり「国立研究開発法人森林研究・整備機構森林整備センター」と修正いたしました。	宮城県木材協同組合

30	-	自由意見	<p>1. 当組合が関わっている優良品やぎ材についての記載がほとんど無くなっているなど、製材や木造建築についての現状把握と課題、政策推進の基本方向の中に木材加工関連のビジョンが少なく見えるので、もう少し具体的な記載を増やしていただきたい。</p> <p>2. JAS認定製品は公共事業以外の需要が少なく、エコ住宅向けには、さらに優良品やぎ材として認証していることもある。JAS認定製品の普及拡大を図るためには、JAS認定取得への支援やJAS製品を県の住宅関連助成制度の対象とするなどの対策を講じていただきたい。</p>	<p>取組2に機械等級区分構造用製材JAS認定取得の推進のほか、県産木材を使用した戸建住宅の普及促進について記載しております。</p> <p>なお、御意見も踏まえ、今後JAS製品の普及拡大に向けた支援についても検討してまいります。</p>	宮城県木材協同組合
31	-	自由意見	<p>1. 全体的にナラ枯れ対策についての記載が弱いように思う。ナラ枯れは既にほぼ全県に拡大し、枯損もどんどん目立ってきている。すでに手遅れ感もあるが、数年後には県民の方々に直接影響を及ぼす環境問題として認識される可能性がある。県民の方々から見える形で対応策を具体的に記載しておくべきであると思う。</p> <p>2. (質問) 前ビジョン(2008-2017)を読み返してみても、目標指標が明記されているが、達成が少し疑問である項目も目立つ。今回のビジョン(2018-2027)では、評価システムをより厳しく改善した点はあるのか。</p> <p>3. 直接内容に関係するところではありませんが、「素案」を作成した際、いつできたものか作成年月日を入れてもらいたい。</p>	<p>ナラ枯れ被害の対策としては、森林公園など重要なナラ林を中心とした防除と、広葉樹の利活用と植栽・天然更新によるナラ林の若返りを組み合わせることで実施していくこととしており、取組5(被害対策)や取組2(広葉樹利活用)のほか、巻末の重点プロジェクト1(有用広葉樹の販売促進)などに取組内容を記載しております。</p> <p>今回作成するビジョンは、今後策定が予定されている(仮称)宮城県森林・林業条例に基づく基本計画として位置づける方向で検討しているところであり、その際、県では毎年度施策の実施状況や目標指標の達成状況を確認し、その結果を公表するなど、的確な評価と進行管理に努めることとしております。</p> <p>御指摘を踏まえ、素案作成年月日を記載するようにいたします。</p>	宮城県森林インストラクター協会